

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

試料・情報の利用目的及び利用方法	研究の名称 僧帽弁形成後 SAM(後尖収縮期前方運動)予防のための手術方法の工夫、Functional height reduction techniqueの有効性の検討
	研究の対象 浜松医科大学医学部附属病院心臓血管外科において2023年1月以降、Functional height reduction techniqueを用いた僧帽弁形成を受けた患者さん。今後受ける患者さん。
	研究の目的 僧帽弁閉鎖不全症の方が受ける手術に、僧帽弁形成術があります。非常に成績の安定した治療法ですが、僧帽弁後尖が非常に大きい場合に、術後の後尖前方運動が残り、僧帽弁逆流が改善しないことがあります(SAMと言います)。SAMを回避するため様々な方法が報告されていますが、高度な技術と症例毎の適切な術中判断が要求されるものが多く、成績が安定しないことが問題となります。その中で、我々は、比較的再現性の高い方法であるloop techniqueとfoldplasty(TABATA technique)を組み合わせる(Functional height reduction technique)しており、良好な術後経過を得ているため、その有用性を学会や論文等で報告します。
	研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2025年12月まで
	利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	他の機関に提供する場合には、その方法

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	研究に使用する試料・情報 情報：性別、年齢、既往歴、血液検査結果、手術内容 等 試料：使用しません
利用する者の範囲	機関名および責任者名 浜松医科大学 第一外科 津田和政
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	浜松医科大学 第一外科 津田和政
試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下 問い合わせ先 をご確認ください。
資料の入手または閲覧	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
情報の開示	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>問い合わせ 先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 第一外科</p> <p>担当者： 津田和政</p> <p>0 5 3・4 3 5・2 2 7 6 (外科学第一講座)(平日 9 時～ 1 7 時)</p> <p>TEL： 0 5 3・4 3 5・2 6 8 2 (第一外科・西 2 階病棟)(夜間・ 休日)</p> <p>E-mail： kzmstd@hama-med.ac.jp</p>
--------------------	---